

県立相模原養護学校・弥栄高等学校の学校訪問の結果について

子どもたち一人ひとりに合わせた指導、支援に取り組んでいる県立の特別支援学校と、多様な学習希望・進路希望に応える集合型専門高校の姿を視察することを目的に、平成 23 年 12 月 13 日（火曜日）に相模原市にある県立相模原養護学校と、弥栄高等学校を訪問しました。

（１）相模原養護学校訪問

相模原養護学校は、昭和 50 年に開設された、小中高等部のある知的障害教育部門設置校で、現在約 250 人の児童生徒が学んでいます。一人ひとりの能力と適性に応じた指導を行うことにより、子どもたちの発達を援助し、自立と社会参加を支援しています。



高等部の生徒と一緒に給食を食べました。食事の後には、生徒が、作業学習で知事のために作ったパソコンラックとコースターがプレゼントされました。

小学部で友だちと仲良く安全に遊ぶことを目標にした「遊びの時間」を参観しました。



中学部の授業を参観しました。1年生が、「生活」という授業の中で、プレイルームで演奏体験をしています。知事も飛び入りで参加し、生徒と一緒に演奏しました。

(2) 弥栄高等学校訪問

弥栄高等学校は、平成20年度に芸術科・国際科・スポーツ科学科・理数科という4つの専門学科を置く、全国でも珍しい「集合型専門高校」として開校しました。



県立高校で唯一「芸術科」があることから、音楽専攻1年次の「合唱」を参観しました。ピアノの周りにイスを並べての授業で、先生の感情のこもった指導の様子を参観しました。

芸術表現実習室に移動し、芸術科音楽専攻全生徒約120人による、本格的なオーケストラ演奏・合唱の「フィンランディア」を参観しました。



引き続き、芸術科生徒有志を中心とし、学科を越えた活動として、コンピュータグラフィックと、演奏・ダンス・ファッションなどを融合させた総合舞台芸術である「アートライブ」を参観しました。

参観後には、アートライブ出演・演出生徒や合唱部生徒等と、入学する前の勉強の仕方や、毎日の学習の様子、将来の夢などについて、活発な意見交換を行いました。

